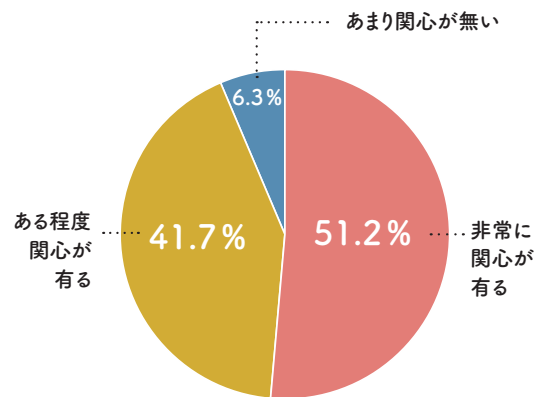


医師の世論調査

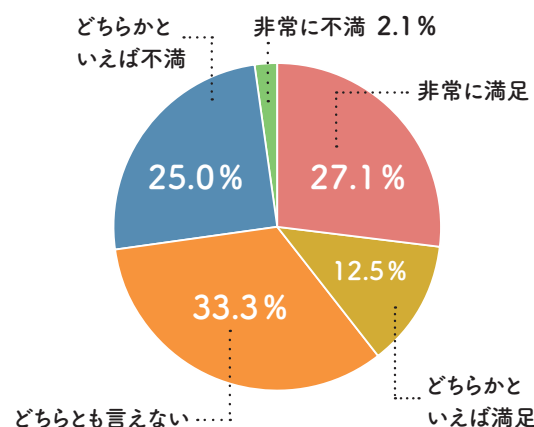
結果公表「参議院選挙2025について」

『集中』編集部では、病院経営者を中心とした医師に、任期満了に伴う参議院議員選挙について、世論調査を実施しました(アンケート実施期間:2025年5月26日～6月6日)。

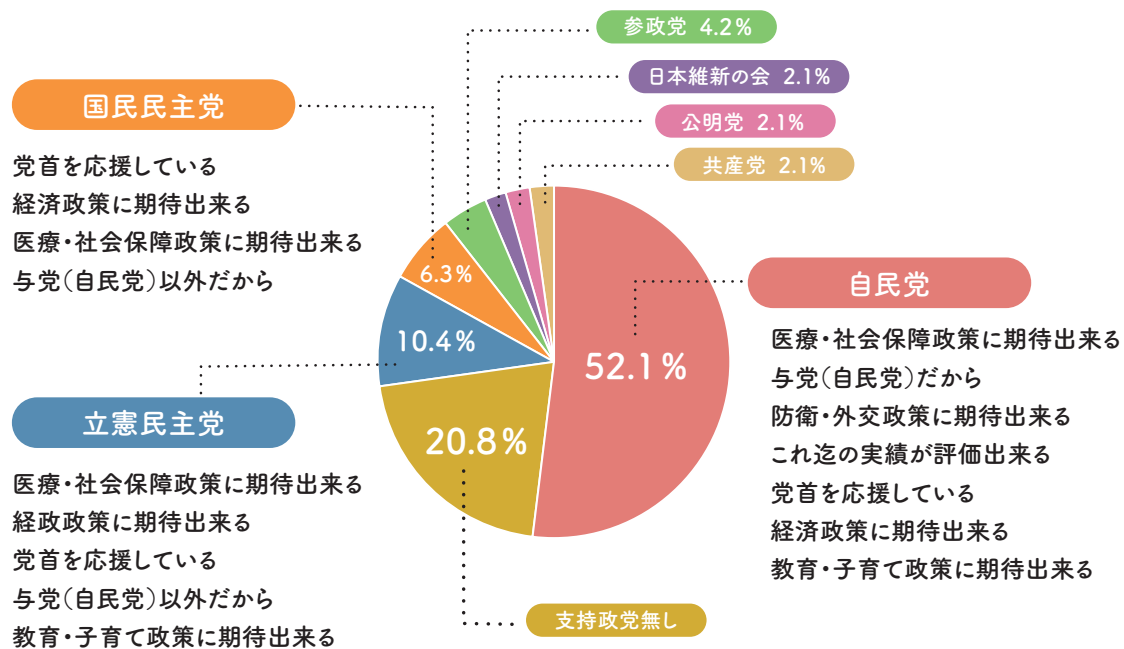
今回の参議院選挙への関心度を教えてください。



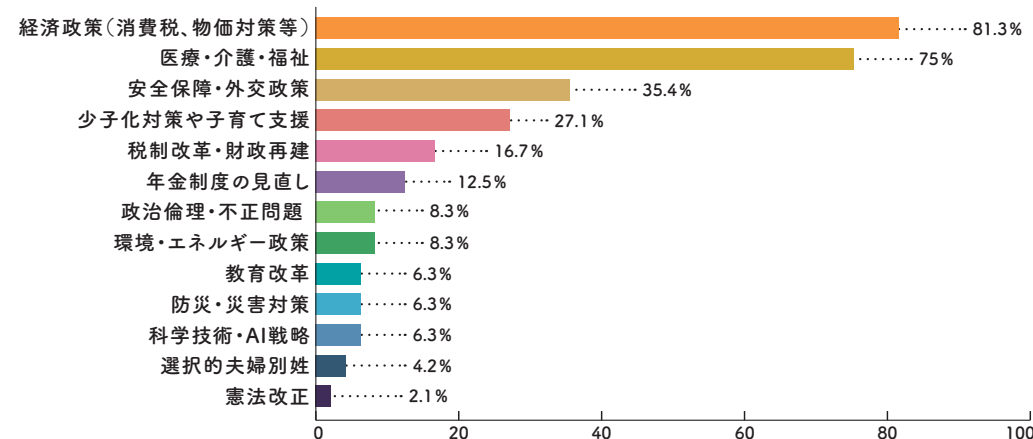
現在の内閣や与党政権の政策運営にどの程度満足していますか？



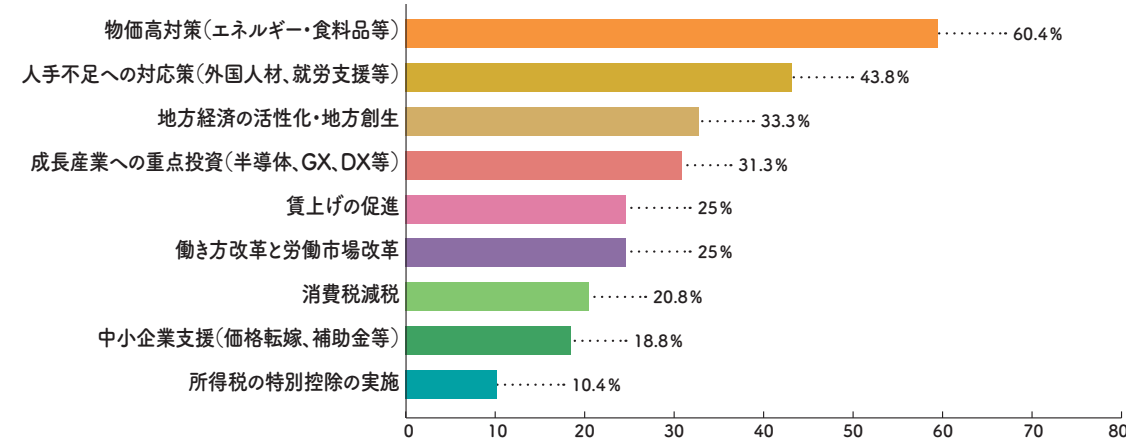
今回の参議院選挙で支持する政党をお答え下さい。



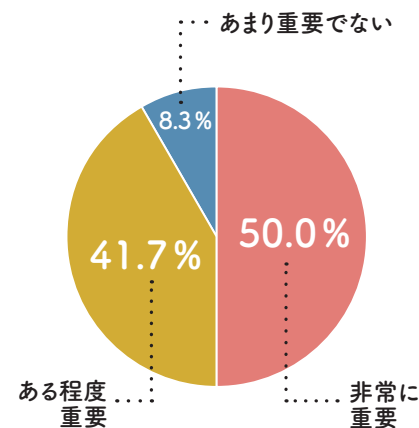
参議院選挙の争点で重要だと思うものを3つ迄挙げて下さい。※複数回答



政府が優先的に実行すべきだと思う経済政策を3つ迄挙げて下さい。※複数回答



医師の政治参加や政策提言の重要性についてどう考えますか？



「日本の政治について物申す」の意見の総括

現政権に対しては、「選挙目当ての短期的な政策ではなく、長期的なグランドデザインを描いて欲しい」「保身に走る議員が多く、決断力、実行力が無い」といった批判的な声がある一方、「石破総理の発言はシンプルで分かり易い」「自民党の自律的活性化に期待する」と評価する声も有った。

医療現場からは「診療報酬が安く、物価高で病院経営が大変」「消費税、光熱費の負担が重くのし掛かっている」等、経営環境の厳しさを訴える声が多数を占めた。消費税については「減税すべき」という意見と「将来世代を考えると減税は困難」という慎重な意見とに分かれた。少子化対策では「出産費用の無償化が必要」、経済では「30年間停滞している日本は危機的」という意見の一方で、「日本の社会成熟度は高く、成長より安定を重視すべき」という独特な視点も示された。その他「科学重視の政策」「既得権益への付度を止める」「自給率向上」等の、改革を求める声等が集まった。